

補足資料 1

HL7 Ver2.31 付録 C 低層プロトコル より抜粋

注) 付録 C (Appendix C) は Ballot Version に記載されていたが final Version からは削除されている。

C.4 最小低層プロトコル

C.4.1 はじめに

この節では、純粋なネットワーク環境で使用する最小 HL7 低レベルプロトコルについて説明する。このプロトコルは、ハイブリッド低層プロトコルを改変したものである。

C.4.1.1 背景

この HL7 プロトコルは、ネットワーク環境のみで使用することが前提になる。エラー検出と訂正の細部の大半は、低レベルの適切なネットワークプロトコルが処理するため、補足処理は必要ない。

★*pC-23*

C.4.1.2 目的と前提条件

この低レベルプロトコル (LLP) の目的は、他の低レベルプロトコルとの互換性を維持したままで、HL7 と、オーバヘッドが最小のネットワークとを仲介することにある。他の LLP との互換性を残しておく、ベンダーは、この LLP を使用するための既存コードの変更を最小限で済ませることができる。

このプロトコルは、ネットワークへの直接接続しかないとを前提としている。通信サーバーへの RS-232 など、他のタイプのリンクがある場合は、整合性を維持するために別のプロトコルが必要になる。

C.4.1.3 相違点

このバージョンの LLP は、メッセージの開始を知らせるための 1 バイトと、メッセージの終わりを知らせるための 2 バイトしかない点で、他の LLP とはかなり異なっている。その他の低レベルヘッダまたはトレーラ情報も、HL7 メッセージに追加された他の文字もない。

C.4.1.4 表記規則

1. 1文字の ASCII 文字は単一引用符で囲む。
2. 特殊文字や非表示 ASCII 文字は角括弧 (<>) で囲む。特殊文字は、LLP ブロック開始文字とブロック終了文字である。非表示 ASCII 文字は、エスケープ文字を表す ESC など、省略形で記述してもよい。また、OxXX という形式の 16 進数で表記することもできる (X は 16 進数)。例えば、標準 ASCII では、<ESC> は <Ox1B> となる。

C.4.2 ブロックの形式

HL7 メッセージは、特殊文字で囲んでブロックにする。形式は次のとおりである。

<SB>dddd<EB><CR>

<SB> = ブロック開始文字 (1 バイト)
ASCII の<VT>、つまり <0x0B>。これを、ASCII 文字の SOH や STX と混同してはならない。

dddd = データ (可変数バイト)
これは、ブロックの HL7 データ内容である。このデータには、任意の表示可能 ASCII 文字とキャリッジリターン文字(<CR>)を入れることができる。

<EB> = ブロック終了文字 (1 バイト)
ASCII の <FS>、つまり <0x1C>。これを、ASCII 文字の ETX や EOT と混同してはならない。

<CR> = キャリッジリターン (1 バイト)
ASCII キャリッジリターン文字、つまり <0x0D>。

以下省略

補足資料 2

HL7_Ver2.5 より

2.1.1 メッセージ区切り

メッセージを構成するときに、特殊な文字が使われる。特殊な文字とは、セグメント終端文字、フィールド区切り文字、成分区切り文字、副成分区切り文字、反復区切り文字とエスケープ文字である。セグメント終端文字は常にキャリッジリターン(ASCII では、16 進法の 0D)である。他の区切り文字は MSH セグメント内で定義される。つまり、フィールド区切り文字は 4 文字目で、それ以外はセグメント ID の後ろに位置する 1 つ目のフィールドである符号化文字と呼ばれるフィールド内で定義される。MSH セグメント内で使用される区切り文字はメッセージ内どこにおいても使われる区切り値である。その他の理由がなければ、HL7 では図 2-1 区切り値にある値を使用することを推奨している。

どんな施設においても、使用可能な区切り文字のサブセットはアプリケーション間の取り決めによって制限できる。このことは、受信側アプリケーションは、メッセージを解析する際に、メッセージヘッダセグメント(MSH)で指定されるように、合意されている区切り文字を使う、ということの意味する。

注:区切り文字の二進表現はメッセージで使われる文字セットにより様々である。

図 2-1. 区切り文字

区切り	推奨値	文字位置	使用法
セグメント終端文字	<cr>	-	セグメントレコードを終わらせる。この値は実装者では変更できない。
フィールド区切り文字		-	セグメント内の隣り合ったデータフィールドを区切る。セグメント内の第 1 データフィールドとセグメント ID を区切るのにも用いる。
成分区切り文字	^	1	隣り合ったデータフィールドの成分を区切る。
副成分区切り文字	&	4	隣り合うデータフィールドの副成分を区切る。副要素がない場合は省略可能。
反復区切り文字	~	2	複数のフィールドの反復を区切る。
エスケープ文字	\	3	データ型 ST, TX, FT で表現されるフィールド、または ED データ型の(第4)データ要素で使用されるエスケープ文字。メッセージ内にエスケープ文字がない場合は、この文字は省略してよい。しかし、

			副成分がメッセージ内にあるときには、エスケープ文字は省略できない。
--	--	--	-----------------------------------

補足資料 3

HL7_Ver2.5 より

2.15.9 MSH - メッセージ・ヘッダ・セグメント

MSH セグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

HL7 属性表 - MSH - メッセージヘッダ

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM #	要素名
1	1	ST	R			00001	フィールド区切り
2	4	ST	R			00002	符号化文字
3	227	HD	O		0361	00003	送信アプリケーション
4	227	HD	O		0362	00004	送信施設
5	227	HD	O		0361	00005	受信アプリケーション
6	227	HD	O		0362	00006	受信施設
7	26	TS	R			00007	メッセージ日時
8	40	ST	O			00008	セキュリティ
9	15	MSG	R			00009	メッセージ型
10	20	ST	R			00010	メッセージ制御 ID
11	3	PT	R			00011	処理 ID
12	60	VID	R			00012	バージョン ID
13	15	NM	O			00013	シーケンス番号
14	180	ST	O			00014	継続ポイント
15	2	ID	O		0155	00015	受諾肯定応答型
16	2	ID	O		0155	00016	アプリケーション肯定応答型
17	3	ID	O		0399	00017	国コード
18	16	ID	O	Y	0211	00692	文字セット
19	250	CE	O			00693	メッセージの主要な言語
20	20	ID	O		0356	01317	代替文字セット操作法
21	427	EI	O	Y		01598	メッセージプロファイル識別子

2.15.9.0 MSH フィールド定義

2.15.9.1 MSH-1 フィールド区切り(ST) 00001

定義: セグメント ID と最初の実フィールド (MSH-2 - 符号化文字) 間の区切り。そのような区切りとしての他に、残りのメッセージで区切りとして使う文字を定義する。推薦値は | (ASCII 124) である。

2.15.9.2 MSH-2 符号化文字 (ST) 00002

定義:このフィールドは次の順番で並べられた4文字、つまり、成分区切り、反復区切り、エスケープ文字、副成分区切りを含んでいる。推奨値は`~\&(ASCII94, 126, 92 および 38)`である。
[2.5.4 節“メッセージ区切り”](#)を参照。

2.15.9.3 MSH-3 送信アプリケーション (HD) 00003

成分: <ネームスペース ID (IS)> ^ <普遍的 ID (ST)> ^ <普遍的 ID 型(ID)>

定義:このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが送信アプリケーションを一意的に識別する。ネットワーク全体は、企業内の HL7 メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全にサイト定義である。[ユーザ定義表 0361-アプリケーション](#)は、第1成分に対する値のユーザ定義表として使用される。

ユーザ定義表 0361 -アプリケーション

値	説明	コメント
	推奨値なし	

注: サイトでの合意により、実施者は第1成分用にユーザ定義表 0300 - ネームスペース ID を引き続き使うことができる

2.15.9.4 MSH-4 送信施設 (HD) 00004

成分: <ネームスペース ID (IS)> ^ <普遍的 ID (ST)> ^ <普遍的 ID 型(ID)>

定義: このフィールドは、送信アプリケーション、[MSH-3-送信アプリケーション](#)をさらに詳細に記述する。HD データ型への拡張により、この利用法は送信機能だけでなく、次のような他の組織エンティティが含まれるまで広げられた。a)送信アプリケーションに責任のある組織エンティティ、b)責任のあるユニット、c)製品やベンダの識別子、等。完全にサイト定義である。[ユーザ定義表 0362-施設](#)は、第1成分に対する値のユーザ定義表のための HL7 識別子として使用される。

ユーザ定義表 0362 -施設

値	説明	コメント
	推奨値なし	

注: サイトでの合意により、実施者は第1成分用にユーザ定義表 0300 - ネームスペース ID を引き続き使うことができる。

2.15.9.5 MSH-5 受信アプリケーション (HD) 00005

成分: <ネームスペース ID (IS)> ^ <普遍的 ID (ST)> ^ <普遍的 ID 型(ID)>

定義: このフィールドは、ネットワーク全体の他のすべてのアプリケーションの中でどれが受信アプリケーションかを一意的に識別する。ネットワーク全体は、HL7 メッセージの交換に参加するすべてのアプリケーションから成る。完全にサイト定義である。[ユーザ定義表 0361-アプリケーション](#)は、第1成分に対する値のユーザ定義表のための HL7 識別子として使用される。

注: サイトでの合意により、実施者は第1成分用にユーザ定義表 0300 -ネームスペース ID を引き続き使うことが出来る

2.15.9.6 MSH-6 受信施設 (HD) 00006

成分: <ネームスペース ID (IS)> ^ <普遍的 ID (ST)> ^ <普遍的 ID 型(ID)>

定義: このフィールドは、異なる組織で動作しているアプリケーションの、多数の同一インスタンスの中で、どれが受信アプリケーションかを識別する。[ユーザ定義表 0362-施設](#)は、第1成分に対する値のユーザ定義表のための HL7 識別子として使用される。完全にサイト定義である。

注: 使用場所での合意により、実施者はユーザ定義表 0300-ネームスペース ID を第一成分として使いつけてもよい。

2.15.9.7 MSH-7 メッセージ日時 (TS) 00007

成分: <時間 (DTM)> ^ <精密度の記述(ID)>

定義: このフィールドは送信システムがメッセージを作成した日付/時間を含んでいる。タイムゾーンが指定される場合、それはデフォルトタイムゾーンとしてメッセージの全体にわたって使用される。

注: このフィールドはバージョン 2.4 での要求により作られた。バージョン 2.4 以前のメッセージは、このフィールドに値は要求されない。この使用法は下位互換性を保証する。

2.15.9.8 MSH-8 セキュリティ (ST) 00008

定義: いくつかの HL7 アプリケーションでは、このフィールドは安全性を実装するのに使われる。その使用法はまだ規定されていない。

2.15.9.9 MSH-9 メッセージ型 (MSG) 00009

成分: <メッセージ型 (ID)> ^ <トリガーイベント(ID)> ^ <メッセージ構造(ID)>

定義: このフィールドはメッセージのためのメッセージ型とトリガーイベントを含んでいる。

メッセージ型コードの有効な値については [HL7 表 0076-メッセージ型](#)を参照のこと。この表は ACK,ADT,ORM,ORU などの値を含む。

トリガーイベントの有効な値については [HL7 表 0003-イベント型](#)を参照のこと。この表は A01,O01,R01 などの値を含む。

メッセージ構造の有効な値については [HL7 表 0354-メッセージ構造](#) を参照のこと。この表は ADT_A01, ORU_O01, SIU_R01 などの値を含む。

受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータセグメントを知り、また可能であれば、これを転送するアプリケーションを知る。複数の応答トリガーイベントを持つある種の照会では、第2成分は応答メッセージ内で、応答イベント型を示すために変化する。表示照会の変形については第5章を参照。

2.15.9.10 MSH-10 メッセージ制御 ID (ST) 00010

定義: このフィールドはメッセージを一意に識別する番号または他の識別子を含んでいる。受信システムは、メッセージ肯定応答セグメント(MSA)で送信システムへこの ID をエコーバックする。

2.15.9.11 MSH-11 処理 ID (PT) 00011

成分: <処理 ID (ID)> ^ <処理モード(ID)>

定義: このフィールドは HL7 アプリケーション (レベル 7) 処理規則で定義したようにメッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

2.15.9.12 MSH-12 バージョン ID (VID) 00012

成分: <バージョン ID (ID)> ^ <国際化コード (CE)> ^ <内部バージョン ID (CE)>

国際化コードの副成分 (CE): <識別子 (ST)> & <テキスト (ST)> & <コード体系名称 (ID)> & <代替識別子 (ST)> & <代替テキスト (ST)> & <代替コード体系名称 (ID)>

定義: このフィールドは、受信システムにおいて本バージョン ID と己のバージョンと突き合わせ、メッセージが確実に解釈されるようにするためのものである。バージョン 2.3.1 の最初では、HL7 国際支部によって使われる、二つの付加的な“国際化”成分を持つ。<国際化コード>は CE データ型 (ISO 国コードの使用が適切である) であり、それは HL7 支部を表現する。<内部バージョン ID>は、HL7 支部が、一つの米国バージョンと関連した一つ以上の‘地域’バージョンを持つ場合に用いられる。表の値が個々の HL7 支部で変化するので、<内部バージョン ID>は CE データ型を持つ。

HL7 表 0104 - バージョン ID

値	説明	日付
2.0	リリース 2.0	1988 年 9 月
2.0D	デモ 2.0	1988 年 10 月
2.1	リリース 2.1	1990 年 3 月
2.2	リリース 2.2	1994 年 12 月

値	説明	日付
2.3	リリース 2.3	1997年3月
2.3.1	リリース 2.3.1	1999年5月
2.4	リリース 2.4	2000年11月
2.5	リリース 2.5	2003年5月

2.15.9.13 MSH-13 シーケンス番号(NM) 00013

定義: このフィールドの値がヌルでなければ、シーケンス番号プロトコルが使われていることを意味する。この数値フィールドは、以降のシーケンスごとに1つずつ増加される。

2.15.9.14 MSH-14 継続ポインタ (ST) 00014

定義: このフィールドはアプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。
断片化されたメッセージの送信側だけがこのフィールドの値を付ける。

2.15.9.15 MSH-15 受諾肯定応答型 (ID) 00015

定義: このフィールドはこのメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードでは必須である。取りうる値については、[HL7表 0155 - 受諾/アプリケーション肯定応答条件](#)を参照。

2.15.9.16 MSH-16 アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016

定義: このフィールドはこのメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を含む。拡張肯定応答モードでは必須である。

以下の表には、[MSH-15 - 受諾肯定応答型](#)と [MSH-16 - アプリケーション肯定応答型](#)で可能な値が含まれる:

HL7表 0155 - 受諾/アプリケーション肯定応答条件

値	説明	コメント
AL	常に	
NE	決してしない	
ER	エラー/拒絶状態のみ	
SU	成功終了のみ	

注: MSH-15とMSH-16を省略する(または両方ともヌルの場合、基本肯定応答モード規則が使われる。)

2.15.9.17 MSH-17 国コード (ID) 00017.

定義:このフィールドはメッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。利用される値は次の ISO3166 であり、ANSI¹で承認されたものを次に再掲載する。ISO3166 表は、三つに分けられた形の国コードの形式を持つ:HL7 は、国コードとして、3(アルファベット)文字を指定する。

ISO 3166 表で定義された 3 文字コードは、[HL7 表 0399-国コード](#)を参照。

HL7 表 0399 – 国コード

値	説明	コメント
	ISO3166 の 3 文字(アルファベット)を使用	

2.15.9.18 MSH-18 文字セット (ID) 00692

定義:このフィールドはメッセージ全体の文字セットを含む。有効な値については、[HL7 表 0211-代替文字セット](#)を参照すること。

HL7 メッセージは、文字セットを指定するためにフィールド [MSH-18-文字セット](#)を使用する。このフィールドの有効な値は [HL7 表 0211](#)、["代替文字セット"](#)で指定されている。[MSH-18-文字セット](#)は空白、もしくは 1 つないしそれ以上の反復区切りで区切られている。もしこのフィールドが空白の場合、使用されている文字セットは 10 進数 0~127(16 進数 00~7F)の 7 ビット ASCII セットと解釈される。この既定値は明確に ASCII と指定されている。

1 つ以上の文字セットがメッセージ内で使用することが可能である。MSH-18 の初期発生はメッセージの既定符号を示す。2 回目やそれ以降の [MSH-18-文字セット](#)の発生は使用されている追加文字セットを指定するために使われる。

別の文字セットを指定するためのフィールドの反復は FT,ST と TX 日付型のみに適応する。[2.7.2 節"複数文字セットをサポートするエスケープシーケンス"](#)を参照のこと。

単バイトもしくは複数バイトに関わらず、どのような符号化システムも、[MSH-18-文字セット内](#)の既定文字符号で指定されなければならない。もし既定符号が 7 ビット ASCII 以外の場合、サイトは文字セットの動的適合プロファイルや実装上の合意事項として文書化すべきである。メッセージの符号化を決定するのに必要なテスト量は制限されるため、これは多国間の HL7 支部が相互運用を促進する際に特に有用である。

文字列、文字操作のために埋め込まれた言語機能を使用することによって、メッセージ全体にそれを使用すれば、構文解析ツールやアプリケーションは単バイトもしくは 2 バイトの文字セット

¹ ISO 1 Rue de Varembe, Case Postale 56, CH 1211, Geneve, Switzerland から入手可能

が使用されているかどうかに関与する必要がなくなる。CHARACTER から 4 番目の文字を抽出するための機能を使用するということは、コードセットに関らず、常にフィールド区切り文字をもたらす。一方、構文解析ツールが 4 バイト目を参照すると、単バイト文字セットに限られてしまう。なぜなら、4 バイト目は 2 バイトシステムにおける文字 S の下位 8 ビットとなるからである。

注意:符号化規則の記述において、この規格はバイトオフセットではなく、文字位置の視点から常に述べられている。同様に、比較は文字値によって行われ、バイト値では行われない。そのため、正確な文字セットを使用しているかどうかに関らず、区切り文字は常に標準 7 ビット ASCII で表示されなければならない。ゆえに CR(カレージリターン)文字の検索は 機能する。

HL7 表 0211 -代替文字セット

値	説明	コメント
ASCII	印刷可能な 7 ビットの文字セット	(このフィールドを省略する場合、これがデフォルトである)
8859/1	ISO 8859/1 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/2	ISO 8859/2 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/3	ISO 8859/3 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/4	ISO 8859/4 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/5	ISO 8859/5 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/6	ISO 8859/6 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/7	ISO 8859/7 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/8	ISO 8859/8 の文字セットからの印刷可能な文字	
8859/9	ISO 8859/9 の文字セットからの印刷可能な文字	
ISO IR14	情報交換用コード(1 バイト)(JIS X 0201-1976)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR14"
ISO IR87	日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0208-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR87" 日本では JIS X 0208 はエスケープシーケンスを必要としており、エスケープ技術は ISO2022 である。標準 ASCII では、エスケープシーケンス "escape" \$B(16 進数、1B 24 42)は以下のバイトは 2 バイトの幅であることを自身に知らせる。ASCII へのもどるには 1B 28 42 である。
ISO IR159	補助的な日本のグラフィック文字集合用の情報交換コード (JIS X 0212-1990)	コードはスペースを含んでいることに注意。すなわち "ISO IR159"
GB 18030-2000	中国語(漢字)文字セットコード (GB 18030-2000)	エスケープシーケンスの必要なし

値	説明	コメント
KS X 1001	韓国語文字セットコード(KS X 1001)	
CNS 11643-1992	台湾文字セットコード(CNS 11643-1992)	エスケープシーケンスの必要なし
BIG-5	Code for Taiwanese Character Set (BIG-5)	エスケープシーケンスの必要なし BIG-5 はエスケープシーケンスを必要としない。ASCII は7ビット文字セットであり、バイトの開始ビットは"0"である。構文解析ツールは開始ビットが"0"であるかどうかで ASCII コードかどうか判断する。もし"1"である場合、以下のバイトは 2 バイト(もしくはそれ以上)の文字セットとして扱われる。エスケープ技術は必要としない。しかし、開始ビットを"1"と受信しても翻訳を正しく行わないサーバもあるため、これらのノンセーフノンエスケープな拡張は行わないよう、インターネット RFC ではアドバイスされている。
UNICODE	ISO/IEC 10646-1-19935 による世界標準文字	否定されている。V2.5 でのみ下位互換性のため残されている。特定の Unicode 符号コードに代えられている。
UNICODE UTF-8	UCS 変換フォーマット,8-bit 形式	UTF-8 は可変長符号であり、それぞれのコードは 1,2 もしくは 3 バイトで表され、コード値に依存する。7 ビット ASCII は UTF-8 の下位集合である。このコードは UTF の前にスペースを含んでも良いが、ハイフンの前後にスペースを含んではならないことに注意
UNICODE UTF-16	UCS 変換フォーマット,16-bit 形式	UTF-16 は ISO/IEC 10646 UCS-2 と同等である。このコードは UTF の前にスペースを含んでも良いが、ハイフンの前後にはスペースを含んではならないことに注意
UNICODE UTF-32	UCS 変換フォーマット,32-bit 形式	UTF-32 は Unicode テクニカルレポート#19 で定義され、Unicode ヴァージョン 3.1 の符号化として正式に認められている。UTF-32 は ISO/IEC 10646 UCS-4 の下位集合である。このコードは UTF の前にスペースを含んでも良いが、ハイフンの前後にはスペースを含んではならないことに注意。

- a) もしフィールドの値が無いならば、デフォルト単一のバイト文字セット(ASCII (ISO IR6))を仮定すべきである。メッセージ中で他の文字セットは許可されない。

- b) もしこのフィールドが繰り返されるが、しかし第 1 要素がヌル(すなわち存在するが値がない)ならば、単一のバイトの ASCII (ISO IR6) がデフォルト文字セットとして仮定される。
- c) シーケンスの残りの要素(すなわち要素 2..n)は、使用できる代替文字セットである。これらはマルチバイトの文字セットを含むことができる。

文字セットや符号化の背景情報について下記を参照のこと。

- Unicode テクニカルレポート#17-文字符号化モデル
(<http://www.unicode.org/unicode/reports/tr17/>)
- Extensible Markup Language (XML) 1.0 (2 版), セクション F 文字符号の自動検出
(<http://www.w3.org/TR/REC-xml#sec-guessing>)

2.15.9.18.1 英語以外のアルファベット言語

MSH-18-文字セットの初回発生は7ビット ASCII 以外の文字セットを参照してもよい。英語以外の西洋アルファベット言語は文字符号化の ISO 8859 シリーズに適応する。例えば、もし *MSH-18-文字セット* が 8859/1 の値だった場合、一般的に”8 ビット ASCII”として知られている ISO 文字セットがそのメッセージ内に使用されている。これは 10 進数 0~127(16 進数 00~7F)の全ての値を含み、さらに追加で 10 進数 128~255(16 進数 80 から FF)も加える。後半の値は一般的な西部ヨーロッパ言語で使用されているアクセントラテン文字、また、パラグラフマーク (¶) やトレードマークシンボル(™)などのいくつかのシンボル値として使われる。

その他の 8859 シリーズ内の ISO 文字セットはラテン文字セット以外に適応する。例えば、*MSH-18-文字セット* は東部ヨーロッパで使われる既定文字符合を指定する際は 8859/2 の値を指定し、アラビアアルファベットを指定する際は 8859/6 を指定する。

ASCII と ISO 文字セットは全て単バイトでいずれの文字も指定できるようになっている。

2.15.9.18.2 アルファベット以外の言語

HL7 表 0211 はアルファベットを使用しない言語の値を含む。これらは ISO IR87 で指定される日本語文字セットのような表意文字も含む。

HL7 表 0211 には特別な記入がされていないが、アルファベット以外の符号化システムがある。ひとつは伝統的な中国語文字セット CNS 11643 で、台湾で使われている。この文字セットは Unicode 標準を用いて符号化されているが、*HL7 表 0211* には値が定義されていない。

Unicode 標準(現在は ISO 10646 で統一されている)は、単バイトASCIIやISO文字セットで利用されているものより広い範囲の複数バイトの文字セットの定義を認可している。Unicode Version3.1(<http://www.unicode.org>)は、中国語、日本語、韓国語などを含む約 100,000 文字を含む。これは、例えばアルファベットと表意文字両方の利用に対応するような、1 つ以上の文字セットを使用したメッセージを符号化する必要がある利用者にとって特に有効である。

アルファベット以外の符号化システムは文字を 1 バイトの長さ限定しない。Unicode は、メッセージを符号化するために複数バイトの利用を許可するような 3 つの符号化形式を具体化している。最も柔軟な Unicode 符号化形式は UTF-8 であり、それぞれの文字を符号化するために使われるバイトの数(1 から 6 まで)を指定する際に最上位ビットを使用する。

興味深いことに、Unicode UTF-8 は単バイトコードとして 7 ビット ASCII 文字セットを組み込んでいる。これは、7 ビット ASCII で符号化されているメッセージは変更なしに Unicode UTF-8 を使用している相手に送ることができることを意味している。

2.15.9.19 MSH-19 メッセージの主要言語 (CE) 00693

成分: <識別子(ST)> ^ <テキスト(ST)> ^ <コード体系名称(IS)> ^ <代替識別子(ST)> ^ <代替テキスト (ST)> ^ <代替コード体系名称(IS)>

定義: このフィールドはメッセージの主要言語を含む。コードは ISO 639 から成る。

2.15.9.20 MSH-20 代替文字セット文字セット操作法 (ID) 01317

定義: 代替文字セットが使用され(第2又は以降の *MSH-18-文字セット*の成分において指定され)、もし特別な操作方法が必要なら、この成分はその操作方法を指定するのに用いられる。これは次に示す *HL7 表 0356 代替文字セット操作法*に従う:

HL7 表 0356 – 代替文字セット操作法

値	説明	コメント
ISO 2022-1994	この規格は、“情報技術 - 文字コード構造と拡張技術”と名付けられている。	この規格は、基本的な 1 バイト文字セットから指定された異なる文字セットとの間の、遷移する手順を指定する。その遷移手順は、明示的に起動される交代文字セットを指定する。このモードでは、実際の ASCII エスケープ文字が、参照される ISO 文書中で定義され使用される。1.7.1 節で注意したように、代替文字セットへ(から)の遷移手順は、HL7 区切り文字間内で起きるべきである。言い換えれば、HL7 区切り文字は基本の 1 バイト文字だけであり、区切り文字の直前と直後の文字は、状態を符号化している基本的な 1 バイトセットであるべきである。

値	説明	コメント
2.3	HL7 2.5 の 2.7.2 節 “複数文字セットをサポートするエスケープシーケンス”と 2.A.46 節 “XPN-拡張人名で指定された、文字集合スイッチングモード”。	このモードでの遷移手順は、ISO 2022-1994 で定義されているように ASCII “esc” 文字は用いられないことに注意。“HL7 遷移手順” は最初 HL7 2.3, 2.9.2 節で定義されている (HL7 2.3 の 2.8.28.6.1 節と 2.9.2 節は、HL7 2.5 の 2.16.93 節と 2.7.2 節に対応することにも注意)
<null>	これはデフォルトであり、このメッセージ中に交代する文字セットが無いことを指定する。	これはデフォルトである。

2.15.9.21 MSH-21 メッセージプロファイル識別子 (EI) 01598

成分: <全体識別子 (ST)> ^ <ネームスペース ID (IS)> ^ <普遍的 ID (ST)> ^ <普遍的 ID 型 (ID)>

定義: サイトは、このフィールドを、メッセージプロファイルの準拠を主張するか、もしくは参照する際に使用することができる。メッセージプロファイルは、文法、構文および特定のメッセージやメッセージのセットの詳細化された説明を含む。[2.12 節](#) “メッセージプロファイルを使用した適合性” を参照のこと。

このフィールドの反復は、メッセージプロファイルの作成と名前付けに、より柔軟性を持たせる。反復を用いることで、このフィールドは、メッセージが従うメッセージプロファイルのセットを指定できる。例えば、反復の最初は、ベンダーの標準準拠を参照でき、2 回目は別の適合したプロバイダのプロファイルや、最初のベンダーのプロファイルの最新バージョンなどを参照する。

V2.5 において、HL7 メッセージプロファイル識別子は適合要求や発行/購読システムに使われているかもしれない。メッセージプロファイル識別子の詳細には、[2.12.1.1 節](#) “メッセージプロファイル識別子”、[2.12.1.2 節](#) “メッセージプロファイル発行/購読トピックス” を参照のこと。静的定義識別子については、[2.12.4.1 節](#) “静的記述識別子”、[2.12.4.2 説](#) “静的記述識別子出版/購読トピック” を参照のこと。

v2.5 より以前、このフィールドは準拠宣言 ID と呼ばれていた。下位互換性のため、ここでは準拠宣言 ID を使うことができる。準拠宣言の使用法の例は 5 章 “照会” に記されている。

補足資料 4

HL7_Ver2.5 より

HL7 Table 0354 - メッセージ構造(CH2)

値	イベント	コメント
ACK	Varies	
ADR_A19	A19	
ADT_A01	A01, A04, A08, A13	
ADT_A02	A02	
ADT_A03	A03	
ADT_A05	A05, A14, A28, A31	
ADT_A06	A06, A07	
ADT_A09	A09, A10, A11, A12	
ADT_A15	A15	
ADT_A16	A16	
ADT_A17	A17	
ADT_A18	A18	
ADT_A20	A20	
ADT_A21	A21, A22, A23, A25, A26, A27, A29, A32, A33	
ADT_A24	A24	
ADT_A30	A30, A34, A35, A36, A46, A47, A48, A49	
ADT_A37	A37	
ADT_A38	A38	
ADT_A39	A39, A40, A41, A42	
ADT_A43	A43, A44	
ADT_A45	A45	
ADT_A50	A50, A51	
ADT_A52	A52, A53, A55	
ADT_A54	A54	
ADT_A60	A60	
ADT_A61	A61, A62	
BAR_P01	P01	
BAR_P02	P02	

値	イベント	コメント
BAR_P05	P05	
BAR_P06	P06	
BAR_P10	P10	
BAR_P12	P12	
BPS_O29	O29	
BRP_030	O30	
BRT_O32	O32	
BTS_O31	O31	
CRM_C01	C01, C02, C03, C04, C05, C06, C07, C08	
CSU_C09	C09, C10, C11, C12	
DFT_P03	P03	
DFT_P11	P11	
DOC_T12	T12	
DSR_P04	P04	
DSR_Q01	Q01	
DSR_Q03	Q03	
EAC_U07	U07	
EAN_U09	U09	
EAR_U08	U08	
EDR_R07	R07	
EQQ_Q04	Q04	
ERP_R09	R09	
ESR_U02	U02	
ESR_U02	U02	
ESU_U01	U01	
INR_U06	U06	
INU_U05	U05	
LSU_U12	U12, U13	
MDM_T01	T01, T03, T05, T07, T09, T11	
MDM_T02	T02, T04, T06, T08, T10	
MFD_MFA	MFA	

値	イベント	コメント
MFK_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06, M07, M08, M09, M10, M11	
MFN_M01	M01	
MFN_M02	M02	
MFN_M03	M03	
MFN_M04	M04	
MFN_M05	M05	
MFN_M06	M06	
MFN_M07	M07	
MFN_M08	M08	
MFN_M09	M09	
MFN_M10	M10	
MFN_M11	M11	
MFN_M12	M12	
MFN_M13	M13	
MFN_M15	M15	
MFQ_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06	
MFR_M01	M01, M02, M03, M04, M05, M06	
NMD_N02	N02	
NMQ_N01	N01	
NMR_N01	N01	
OMB_O27	O27	
OMD_O03	O03	
OMG_O19	O19	
OMI_O23	O23	
OML_O21	O21	
OML_O33	O33	
OML_O35	O35	
OMN_O07	007	
OMP_O09	O09	
OMS_O05	O05	
ORB_O28	O28	

値	イベント	コメント
ORD_O04	O04	
ORF_R04	R04	
ORG_O20	O20	
ORI_O24	O24	
ORL_O22	O22	
ORL_O34	O34	
ORL_O36	O36	
ORM_O01	O01	
ORN_O08	O08	
ORP_O10	O10	
ORR_O02	O02	
ORR_O02	O02	
ORS_O06	O06	
ORU_R01	R01	
ORU_R30	R30	
ORU_R31	R31	
ORU_R32	R32	
OSQ_Q06	Q06	
OSR_Q06	Q06	
OUL_R21	R21	
OUL_R22	R22	
OUL_R23	R23	
OUL_R24	R24	
PEX_P07	P07, P08	
PGL_PC6	PC6, PC7, PC8	
PMU_B01	B01, B02	
PMU_B03	B03	
PMU_B04	B04, B05, B06	
PMU_B07	B07	
PMU_B08	B08	
PPG_PCG	PCC, PCG, PCH, PCJ	

値	イベント	コメント
PPP_PCB	PCB, PCD	
PPR_PC1	PC1, PC2, PC3	
PPT_PCL	PCL	
PPV_PCA	PCA	
PRR_PC5	PC5	
PTR_PCF	PCF	
QBP_Q11	Q11	
QBP_Q13	Q13	
QBP_Q15	Q15	
QBP_Q21	Q21, Q22, Q23, Q24, Q25	
QCK_Q02	Q02	
QCN_J01	J01, J02	
QRY_A19	A19	
QRY_P04	P04	
QRY_PC4	PC4, PC9, PCE, PCK	
QRY_Q01	Q01, Q26, Q27, Q28, Q29, Q30	
QRY_Q02	Q02	
QRY_R02	R02	
QRY_T12	T12	
QSB_Q16	Q16	
QVR_Q17	Q17	
RAR_RAR	RAR	
RAS_O17	O17	
RCI_I05	I05	
RCL_I06	I06	
RDE_O01	O01	
RDE_O11	O11, O25	
RDR_RDR	RDR	
RDS_O13	O13	
RDY_K15	K15	
REF_I12	I12, I13, I14, I15	

値	イベント	コメント
RER_RER	RER	
RGR_RGR	RGR	
RGV_O15	O15	
ROR_ROR	ROR	
RPA_I08	I08, I09, I10, I11	
RPI_I01	I01, I04	
RPL_I02	I02	
RPR_I03	I03	
RQA_I08	I08, I09, I10, I11	
RQC_I05	I05, I06	
RQI_I01	I01, I02, I03, I07	
RQP_I04	I04	
RQQ_Q09	Q09	
RRA_O02	O02	
RRA_O18	O18	
RRD_O14	O14	
RRE_O12	O12, O26	
RRG_O16	O16	
RRI_I12	I12, I13, I14, I15	
RSP_K11	K11	
RSP_K21	K21	
RSP_K22	K22	
RSP_K23	K23, K24	
RTB_K13	K13	
SIU_S12	S12, S13, S14, S15, S16, S17, S18, S19, S20, S21, S22, S23, S24, S26	
SPQ_Q08	Q08	
SQM_S25	S25	
SQR_S25	S25	
SRM_S01	S01, S02, S03, S04, S05, S06, S07, S08, S09, S10, S11	
SRR_S01	S01, S02, S03, S04, S05, S06, S07, S08, S09, S10, S11	
SSR_U04	U04	

値	イベント	コメント
SSU_U03	U03	
SUR_P09	P09	
SUR_P09	P09	
TBR_R08	R08	
TBR_R09	R09	
TCU_U10	U10, U11	
UDM_Q05	Q05	
VQQ_Q07	Q07	
VXQ_V01	V01	
VXR_V03	V03	
VXU_V04	V04	
VXX_V02	V02	
ORU_W01	W01	
QRF_W02	W02	

補足資料 5

HL7_Ver2.5 より

HL7 属性表 – PID –患者識別情報

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O			00104	Set ID - PID セット ID- PID
2	20	CX	B			00105	Patient ID 患者 ID
3	250	CX	R	Y		00106	Patient Identifier List 患者 ID リスト
4	20	CX	B	Y		00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者 ID
5	250	XP	R	Y		00108	Patient Name 患者氏名
6	250	XP	O	Y		00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓
7	26	TS	O			00110	Date/Time of Birth 生年月日
8	1	IS	O		0001	00111	Administrative Sex 性別
9	250	XP	B	Y		00112	Patient Alias 患者別名
10	250	CE	O	Y	0005	00113	Race 人種
11	250	XAD	O	Y		00114	Patient Address 患者住所
12	4	IS	B		0289	00115	County Code 郡コード
13	250	XTN	O	Y		00116	Phone Number - Home 電話番号—自宅
14	250	XTN	O	Y		00117	Phone Number - Business 電話番号—勤務先
15	250	CE	O		0296	00118	Primary Language 使用言語
16	250	CE	O		0002	00119	Marital Status 結婚状態
17	250	CE	O		0006	00120	Religion 宗教
18	250	CX	O			00121	Patient Account Number 患者会計番号
19	16	ST	B			00122	SSN Number - Patient 社会保険番号
20	25	DLN	B			00123	Driver's License Number - Patient 運転免許証番号
21	250	CX	O	Y		00124	Mother's Identifier 母親の識別情報
22	250	CE	O	Y	0189	00125	Ethnic Group 民族
23	250	ST	O			00126	Birth Place 出生地
24	1	ID	O		0136	00127	Multiple Birth Indicator 多胎児識別情報
25	2	NM	O			00128	Birth Order 誕生順序
26	250	CE	O	Y	0171	00129	Citizenship 市民権情報
27	250	CE	O		0172	00130	Veterans Military Status 退役軍人情報
28	250	CE	B		0212	00739	Nationality 国籍
29	26	TS	O			00740	Patient Death Date and Time 死亡日時
30	1	ID	O		0136	00741	Patient Death Indicator 死亡識別情報
31	1	ID	O		0136	01535	Identity Unknown Indicator 識別情報の有無
32	20	IS	O	Y	0445	01536	Identity Reliability Code 識別情報の信頼性
33	26	TS	O			01537	Last Update Date/Time 最終更新日時
34	241	HD	O			01538	Last Update Facility 最終更新施設
35	250	CE	C		0446	01539	Species Code 種コード
36	250	CE	C		0447	01540	Breed Code 品種コード
37	80	ST	O			01541	Strain 血糖情報

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
38	250	CE	O	2	0429	01542	Production Class Code 製品分類コード
39	250	CWE	O	Y	0171	01840	Tribal Citizenship 所属種族

PID-3 Patient 患者 ID リスト (CX) 00106

Components: <ID Number (ST)> ^ <Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Effective Date (DT)> ^ <Expiration Date (DT)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

Subcomponents for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

Subcomponents for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは医療機関で患者を特定（例：医療記録番号、会計番号、誕生記録、国民識別番号）するための（ひとつ、またはそれ以上の）識別情報を示す。カナダでは、**Canadian Provincial Healthcare Number** をこのフィールドで送らなければならない。独断的であった用語「内部 ID」はこのフィールドの名前から取り除かれた。

HL7 Ver2.5 Ch2（続き）より HL7 表 0203

値	説明	コメント
AM	アメリカン・エクスプレス	v 2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
AN	勘定番号	勘定に対する一意的な識別子

値	説明	コメント
ANON	匿名識別子	<p>生物に対する識別子で、その本当の出自が保護されているか、参照の正当化が制限されているもの：公衆衛生報告には、特定の結果の報告をする際に患者の出自を保護するため、匿名識別子が時々使用される。例えば、州の健康局は HIV 抗体が陽性となった患者の報告に、ある生成規則による匿名識別子を使用するかもしれない。</p> <p>匿名識別子は PID 3 で、医療記録番号やその他の匿名でない識別子の代わりに用いることができる。匿名識別子の割当権限者は州や地域の健康局であろう。</p>
ANC	債権者勘定番号	<p>クラス：会計</p> <p>勘定番号のより正確な定義；2つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のであり、もうひとつは債務者のである。</p> <p>Kreditorenkontonummer (ドイツ語で)「債権者勘定番号」</p>
AND	債務者勘定番号	<p>クラス：会計</p> <p>勘定番号のより正確な定義；2つの別の勘定番号が同じメッセージで送信する必要があるときがあり、ひとつは債権者のであり、もうひとつは債務者のである。</p> <p>Debitorenkontonummer (ドイツ語で)「債務者勘定番号」</p>
ANT	暫定勘定番号	<p>クラス：会計</p> <p>勘定番号の暫定版</p> <p>ユースケース：通常は勘定番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な勘定番号が割り当てられるまで使用する暫定勘定番号を生成する。</p>
APRN	上級診療看護師番号	<p>認定委員会の管轄下で重複しない上級診療看護師に対する識別子</p>

値	説明	コメント
BA	銀行口座番号	クラス：会計
BC	銀行カード番号	クラス：会計 個人の銀行カードについて一意的な識別子。v 2.5より、AM、DI、DS、MS およびVS を置き換える。
BR	出生記録番号	
BRN	品種登録番号	
CC	コストセンター番号	クラス：会計 ユースケース：特に伝票に関する情報を送信する場合に必要となる。
CY	郡番号	
DDS	歯科医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない歯科医に対する識別子
DEA	薬物施行管理登録番号	統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子 ユースケース：これは、統制されている物質の管理や取り扱いに関わる個人や組織に対する識別子である。 DEA 番号は米国内では非常に明確で広く受け入れられた意味をもっている。米国内では米国麻薬取締局だけが DEA 番号だけを割り当てていてはならない。病院は、そこに勤務する研修医師に DEA 番号を発行する権限をもつ。これらの DEA 番号は病院の DEA 番号に基づくが、研修医師への割り当て権限は病院にある。このため識別子型としての DEA と共に、割当権限者としての DEA が必要である。
DI	ダイナースクラブカード	v 2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
DFN	薬剤調達あるいは処方権限者番号	医療従事者に割り当てられる識別子で、その人に薬剤オーダーを書く権限を与える ユースケース：診療看護師は薬剤を調達または処方する権限を持つ；成分 1 にこの識別子を含む。
DL	運転免許番号	

値	説明	コメント
DN	医師番号	
DPM	足病医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない足病医に対する識別子
DO	整骨医免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない整骨医に対する識別子
DR	ドナー登録番号	
DS	ディスカバーカード	v 2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
EI	被雇用者番号	ある雇用者について被雇用者を唯一特定する番号
EN	雇用者番号	
FI	施設 ID	
GI	保証人内部識別子	クラス：会計
GL	総元帳番号	クラス：会計
GN	保証人外部番号	クラス：会計
HC	健康カード番号	
JHN	管轄下健康番号（カナダ）	クラス：保険 2通りの使い方があり： a) UK 管轄下の CHI 番号； b) カナダの州の健康カード番号：
IND	先住民／原住民	カナダ外の先住民あるいは原住民集団のメンバーに割り当てられた番号
LI	労働および産業番号	
LN	免許番号	
LR	地方登録 ID	
MA	患者メディケイド番号	クラス：保険
MB	会員番号	ある保険契約の被保険者に対する識別子（この被保険者は必ず契約者を持つ）で通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が保険契約によって保証される。この人はその契約の契約者である場合も、契約者でない場合もある。
MC	患者のメディケア番号	クラス：保険
MCD	医療従事者メディケイド番号	クラス：保険
MCN	マイクロチップ番号	

値	説明	コメント
MCR	医療従事者メディケア番号	クラス：保険
MD	医師免許番号	免許委員会の管轄内で重複しない医師に対する識別子 ユースケース：これらの免許番号は識別子として使用される。州によっては以下の3つの識別子と同じ権限者が発行する。すなわち、医師、整骨医、医師補助者の免許が全てひとつの州の医療委員会で発行される。この場合、CX データタイプでは、成分1を性格に解釈するために別個の識別子型が必要となる。さらに、これらの免許型の区別はほとんどの医療現場で非常に重要となる。（このような免許型は免許の情報を全ては伝えないため、セグメントは関連する属性を全て対応する必要があるため）
MI	軍 ID 番号	過去に従軍経験をもつが現在は兵役についていない個人に割り当てられる番号。この番号は国防省または在郷軍人局(VA)が割り当てる。
MR	診療記録番号	一組の診療記録の中で患者について一意的な識別子で、必ずしもひとつのアプリケーションの中で重複を持たないとは限らない。
MRT	暫定診療記録番号	診療記録番号の暫定版 ユースケース：通常は診療記録番号を割り当てしない補助システムが最初に患者を登録する。補助システムが、公式な診療記録番号が割り当てられるまで使用する暫定診療記録番号を生成する。
MS	マスターカード	v 2.5 で非推奨となり、BC に置き換えられた
NE	国定雇用者番号	米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。

値	説明	コメント
NH	国定健康プラン識別子	<p>クラス：保険</p> <p>英国の NHS（国民健康保健サービス）の国民識別子。</p> <p>米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。</p>
NI	国定個人特定識別子	<p>クラス：保険</p> <p>米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用しうる。</p>
NII	国定保険機関識別子	<p>クラス：保険</p> <p>ドイツでの国制定の保険会社に対する識別子。この識別子は保険カード（健康カード）に印刷されている。健康カード自体の番号と混同しないこと。</p> <p>Krankenkassen-ID der KV-Karte</p> <p>（ドイツ語）KV カードの健康保険組合 ID</p>
NIIP	国定保険支払者識別子（保険料の支払者）	<p>クラス：保険</p> <p>ドイツでの保険料の支払者を指す保険組合識別子</p> <p>Krankenkassen-ID des Rechnungsempfängers</p> <p>（ドイツ語）領収書受取人の健康保険組合 ID</p> <p>ユースケース：下部団体がその識別子でカードを発行するが、その上部団体が保険料の請求に対して支払う場合</p>
NNxxx	xxx は ISO 表 3166 に基づく（アルファベット）3 文字による国コードで、その国が定める個人特定識別子	
NP	診療看護師番号	認証委員会の管轄下で一意的な診療看護師の番号

値	説明	コメント
NPI	国定医療従事者識別子	クラス：保険 米国では、この値の割当権限者は一般的に CMS（メディケア・メディケイドセンター）だが、HIPPA に関する取引については、全ての医療従事者および保険会社がこの番号を使用する。
OD	視力測定医免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な視力測定医の番号
PA	医師補助者番号	免許委員会の管轄下で一意的な医師補助者の番号
PCN	刑務所／矯正施設番号	収監されている人に割り当てられる番号
PE	法人生物体番号	ある（医療）法人（割当権限者より特定される）内での生物体の番号
PEN	年金番号	
PI	患者内部識別子	割当権限者の内部で一意的な患者の番号
PN	個人番号	割当権限者で一意的な生物体の番号
PNT	暫定生体物番号	生体物番号の暫定版
PPN	パスポート番号	個人をある国の市民であることを保証する文書に与えられる一意的な番号 米国ではこの番号は連邦政府のみによって発番される。
PRC	永住者カード番号	
PRN	医療従事者番号	割当権限者の管轄下で、個々の医療従事者、医療従事者のグループまたは組織について一意的な番号 ユースケース：PRN は個人（看護師）を指すこともグループ／組織（整形外科手術チーム）を指すこともできる。
PT	患者外部識別子	
QA	QA 番号	

値	説明	コメント
RI	リソース識別子	一般化されたリソース識別子。 ユースケース：リソースという名で一般に知られるものを入れるために必要となった識別子型。リソースには人間（例、呼吸療法士）、人間以外の生物（例、伴侶動物）、非生物（例、検査室）、組織（糖尿病教育クラス）やその他物理的、論理的実体が含まれる。
RPH	薬剤師免許番号	免許委員会の管轄下で一意的な薬剤師の識別子。
RN	登録看護婦番号	免許委員会の管轄下で一意的な登録看護婦の識別子。
RR	鉄道退職番号	
RRI	地域登録 ID	
SL	州免許	
SN	保険者番号	クラス：保険 健康保険の保険者に対する識別子で、保険会社の中で重複がなく、また通常保険会社によって割り当てられる。 ユースケース：ある人が健康保険の保険者である。その人の家族はその健康保険の対象者でありうるが、保険者ではない。
SR	州登録 ID	
SS	社会保険番号	
TAX	税 ID 番号	
TN	条約番号 / (カナダ)	カナダの先住民グループの構成員に割り当てられる番号 ユースケース：ファースト・ネイション
U	不特定の識別子	
UPIN	メディケア / CMS メディケア・メディケイドセンター(以前の HCFA 医療保険財政管理局)の全米医師識別番号	クラス：保険
VN	受診番号	
VS	ビザ	v2.5 で非推奨となり BC に置き換えられた。
WC	WIC 母子センター識別子	

値	説明	コメント
WCN	ワーカーズ・コンプ（保険組合）番号	
XX	組織識別子	

HL7_Ver2.5 より

HL7 表 0200—名前タイプ

値	説明	コメント
A	別名	
B	出生時の名前	
C	養子縁組による名前	
D	表示名	
I	免許での名前	
L	法的な名前	
M	旧名	
N	ニックネーム／希望呼称／通称	
P	パートナー／配偶者の名前（後方互換性の目的のみ）	
R	登録名（動物のみ）	
S	匿名性保証のためのコード化された仮名	
T	先住民／部族／共同体での名前	
U	不特定	

注記：法的な名前の内容は国固有である。米国では法的な名前は現在の婚姻名称と同一である。

HL7 表 0465—名前／アドレス表記

値	説明	コメント
I	表意文字（例、漢字）	
A	アルファベット（例、デフォルトおよび1バイト文字）	
P	表音文字（例、ASCII、カタカナ、ひらがな、など）	

補足資料 6

J A H I S 臨床検査データ交換規約 Ver3.0 : 06 章より

6.1.3 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント(O33)

1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ(O33)は検体中心の構造である。検体ごとに容器のリストとこの検体で使用するバッテリー（共通オーダー(ORC)セグメント/検査要求(OBR)セグメント）のリスト、および依頼項目（検査結果(OBX)セグメント）のリストを含む。この場合バッテリーや依頼項目は容器との関連付けが無い。通常日本の検体検査ではこの1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージが検体検査の依頼時に使用される。

OML^O33 1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ

<u>OML^O33^OML O33</u>	<u>Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	N	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
}]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
[{ SAC }]	Specimen Container	C	13
{	--- ORDER begin	R	

<u>OML^O33^OML O33</u>	<u>Laboratory Order – Multiple Order Per Specimen Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
ORC	Common Order	R	4
[[--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[[DG1]]	Diagnosis	N	6
[[--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[[NTE]]	Notes and Comments (for Results)	C	2
]]	--- OBSERVATION end		
[[--- PRIOR_RESULT begin	O	
[--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification - previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
- previous result			
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[[AL1]]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[[NTE]]	Notes and Comments - previous result	O	2
[[--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
]]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	

<u>OML^O33^OML O33</u>	<u>Laboratory Order – Multiple Order Per Specimen Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	C	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}}	--- PRIOR_RESULT end	O	
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。(ファイル伝送の場合:オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。)
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。(ファイル伝送の場合:オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。)
- 検体(SPM)セグメントは検体単位に用いることが望ましい。例えば1オーダで検査材料が血清の単数材料を扱う場合であっても、検体に分かれる場合、検体(SPM)セグメントは複数に分割される。各々の検体(SPM)セグメント内のOBR-4/OBX-3はその検体に含まれる検査項目が指示される。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit – previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.3 ORL – 1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O34)

1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ(O24)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O34 1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ

<u>ORL^O34^ORL O34</u>	<u>Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Specimen</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[[ERR]]	Error	O	2
[[SFT]]	Software	N	2
[[NTE]]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[--- RESPONSE begin	O	
[--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[[OBX]]	Observations related to specimen	O	7
[[SAC]]	Specimen Container	O	
[[--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[[--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[[TQ2]]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
]]	--- TIMING end		
[--- OBSERVATION_REQUEST begin	O	
OBR	Observation Request	R	4
[[--- SPECIMEN begin	N	
SPM	Specimen	N	7
[[SAC]]	Specimen Container Details	N	13
]]	--- SPECIMEN end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
]]	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end	O	

注 : OBSERBATION REQUEST begin の中に Specimen が存在しているが、これは HL7 Ver.2.5 自体の誤記であると思われる。

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

補足資料 7

J A H I S 臨床検査データ交換規約 Ver3.0 : 06 章より

6.2.1 OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査自動化システムに適用可能である。

イベントR22とR23の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表 6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 Ver.2.5 での取り扱い	Japan での取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（9章）を参照。

OUL^R22/ACK 非要求検体ベース検査結果メッセージ

<u>OUL^R22^OUL R22</u>	<u>Unsolicited Specimen Oriented Observation Message</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[[SFT]]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[[NTE]]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[[OBX]]	Observation Result (for Specimen)	O	7
[[--- CONTAINER begin	O	
SAC	Container information	RE	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13

<u>OUL^R22^OUL R22</u>	<u>Unsolicited Specimen Oriented Observation</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>Chapter</u>
	<u>Message</u>		
}}	--- CONTAINER end		
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING_QTY end		
{	--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{SID}]	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}}	--- RESULT end		
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R22^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの関係者の同意のもとに HL7 Ver.2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 Ver.2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
以下、他のメッセージも同様である。

補足資料 8

J A H I S 臨床検査データ交換規約 Ver3.0 : 06 章より

6.2 到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK)

到着確認報告時、及び臨床検査結果報告時には検査結果メッセージ(ORU あるいは OUL)を用いる。

注：IHE Laboratory ではイベント R22 と R24 がサポートされていたが、R24 は旧バージョンとの互換性のためにのみ残し、代わりに R01 をサポートすることにした。

検査結果のステータスの変更については、HL7 Ver.2.5 では MSH セグメントに含まれるトリガイメントフィールドと ORC-5 (Filler Order status) , OBR-25 (Order Result Status) , OBX.11 (Observation Result Status) の組み合わせによって表現される。

OBX-11 は個別の検査のステータスを含み、OBR-25 は検査全体のステータスを含む。

ORC,OBR,OBX 間のステータスの相互関係を以下に示す。

3つのテーブルの関係の要約

Order Table 0038 (ORC-5)	Request Table 0123 (OBR-25)	Result Table 0085 (OBX-11)	詳細
	O	O	オーダは受信済みだが、検体はまだ到着していない。 オーダの詳細記述のみに使われる。(OBXに結果はない) この値はORL (OMLに対する肯定応答) メッセージにのみ使用される。OMLメッセージでは使われるべきでない。
SC	S		検査はスケジュールされたが、未検査。結果は未だ無い。 検体は検査部門に届いていないかも知れない。OBXには反映されない。
IP	I	I	検査中。検体は検査中であるが結果は保留状態であり、完了していない。(いわゆる“到着確認”)
		D	OBXのレコードが削除された。
A	R	R	いくつかの結果が得られたが、未検証。
A	P	P	いくつかの検証済みの結果が得られた。
CM	F	F	最終結果：結果は格納され、検証された。以降は修正のみ許される。
(CM)	C	C	結果が修正された。最終結果と置換した。
CA	X	X	(OBXでは) この検査では結果が得られない。(ORC/OBRでは) 結果が得られないので、オーダをキャンセル。

注：ORC-5 で用いられるステータスコードは OBR-25/OBX-11 で用いられるものよりも少ない。
もし、直接的に意味が一致するものがなければ、最も近い意味合いのものを採用すること。

上記のテーブルはこれらのフィールドに使用するコードの意味合いを記述したものである。ただし、全ての可能性のある関係を示したものではないことに注意すること。

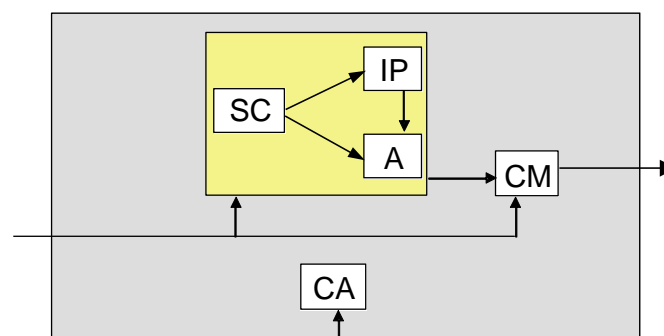
ステータスフィールドの関係の規則と、ステータス遷移図を以下に示す。

1. OBR-25 のステータスは“最低位”の個別のテスト(OBX-11)より早く完了することはできない。
例えば OBX-11 のフィールドが全て‘F’になったときに限り、OBR-25 は‘F’にすることができる。
2. オーダ実施者によって決められるオーダステータスは検査依頼のステータス(OBR-25)よりも早く完了することはできない。
例えば OBR-25 のフィールドが‘F’または‘C’になったときに限り、ORC-5 は‘CM’にすることができる。
3. 検査を終結する目的で、OBX-11 が‘X’または‘D’の場合、OBR-25 が‘X’の場合には‘F’とみなしてもよい。

1. ORC-5: オーダステータス (Order status)

検査依頼とそれに関連する結果のステータスフィールドは、検査の進行と完了によって表現される。

値の遷移は下記に示される。



SC: 進行中、予定済み(scheduled)、検体は未検査(may not be available yet)

IP: 進行中、検体は検査中(available in laboratory)

A: 部分的完了

CM: オーダが完了した

図 6.2-1: The ORC-5 status transition diagram

図 6.2-1 は ORC-5 のステータスコードが SC, から IP, A, CM に変化していく通常のプロセスである。

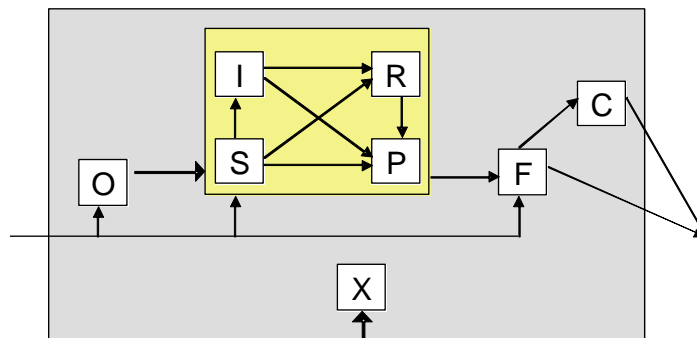
ステータスコードが SC であれば、次の可能なステータスコードは IP, A, CM または SC である。

ステータスコードが IP であれば、次の可能なステータスコードは A, CM または IP である。

特別なステータスコードとして CA (オーダが取り消された) があり、プロセス中の任意

の過程で起こりうる。

2. OBR-25: オーダ結果ステータス (Order Result status)



O: オーダ受信、検体未到着

S: 予定済み(Scheduled)、検体は未検査(specimen may not be available yet)

I: 検体は検査中、結果は不完全(results pending)

R: 部分的完了、未確認

P: 事前的(部分的)に確認された結果

F: 確認済み最終結果

図 6.2-2: The OBR-25 status transition diagram

図 6.2-2 は OBR-25 の O が F に遷移する通常のプロセスである。中央部には 4 つのコードがある。

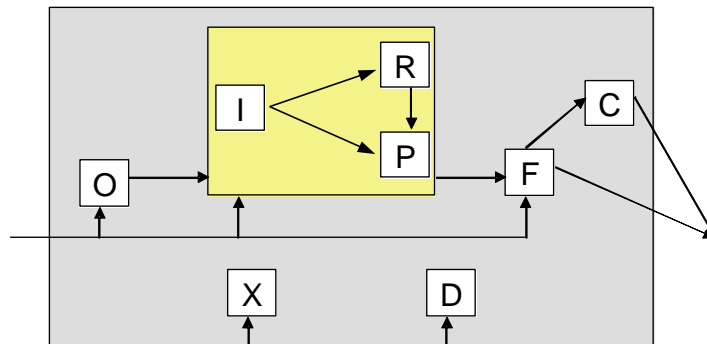
ステータスコードが S であれば、次の可能なステータスコードは I, R, P, F または S のいずれかである。

ステータスコードが P であれば、次の可能なステータスコードは F または P のいずれかである。

ステータスコードが F であれば、次の可能なステータスコードは F または C のいずれかである。

特別なステータスコードとして X (オーダーが取り消された) があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

3. OBX-11: 検査結果ステータス (Observation Result Status)



O: オーダ詳細記述のみ、結果なし

I: 検査部門に検体あり、結果保留

R: 結果入力済み(Result entered)、未確認

P: 事前的(部分的)に確認された結果

F: 確認済み最終結果

C: 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Result still final and verified)

図 6.2-3: The OBX-11 status transition diagram

図 6.2-3 は OBX-11 の O が F に遷移する通常のプロセスである。中央部には 3 つのコードがある。

ステータスコードが I であれば、次の可能なステータスコードは I, R, P または F のいずれかである。

ステータスコードが P であれば、次の可能なステータスコードは F または P のいずれかである。

特別なステータスコードとして X (この検査では結果が得られない) と D があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

以下 HL7_Ver2.5 より

ORC-5 オーダ状態 (ID) 00219

定義：このフィールドはオーダの状態を定義する。とりうる値についてはを参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合または状態が変更になった場合にオーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理することではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7 表 0038 – オーダ状態 は HL7 表 0119 – オーダ制御コードとその意味と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1 – オーダ制御値の SR または SC において典型的に使用される。これは、要求があってからオーダの状態を報告、または当事者に随時報告するためである。

HL7 表 0038 - オーダ状態

値	内容	コメント
A	一部（全部ではない）の結果が利用できる。	
CA	オーダが取り消された	
CM	オーダが完了した	
DC	オーダが中断した	
ER	エラー、オーダが見つからない	
HD	オーダが保留	
IP	進行中、不定（unspecified）	
RP	オーダ変更された	
SC	進行中、予定	

OBR-25 結果状態 (ID) 00258

定義：このフィールドはこのオーダの結果の状態である。この条件付きフィールドが必要なのは、OBR が報告メッセージに含まれるときである。それは初期オーダの一部としては要求されない。

状態情報を送る 2 つの方法がある。もし状態がオーダ全体の状態であるならば、ORC-15 – オーダ有効の日付および ORC-5 – オーダ状態を使用する事。もし、状態がオーダの詳細なセグメントに関係しているなら結果状態 および OBR-22 – 結果報告／状態変更日時を使用すること。もし両方とも存在するならば、OBR 値が ORC 値に優先する。

このフィールドが典型的に使用されるのは、オーダ状態問合せに対する応答においてであって、要求された詳細のレベルが OBX セグメントを含まないときである。各結果の個々の状態が必要なときは、OBX-11 – 検査結果状態 を使用してもよい。とりうる値については HL7 表 0123 – 結果状態を参照のこと。

HL7 表 0123 - 結果状態

Value	Description	Comment
O	オーダ受信；検体未受信	
I	結果無効；検体受信、手続き不完全	

Value	Description	Comment
S	結果無効；手続き未実施	
A	一部の結果が利用できる。全部の結果が利用できるとはがぎらない。	
P	予備；初期結果確認無効、最終結果未確認	
C	Correction to results	
R	結果ストア；未確認	
F	最終結果；結果ストア、確認済訂正結果と書き替え可能	
X	結果無効；オーダ取り消し。	
Y	オーダによらない検査結果（参照のみ可能）	
Z	患者に対する結果なし（参照のみ可能）	

OBX-11 検査結果状態 (ID) 00579

定義：この項目は検査結果状態を含んでいる。採りうるコードについては、HL7 表 0085－検査結果状態－を参照。この項目は、1つの検査項目についての、現在の結果完了状態を反映する。

それは要求された項目である。HL7の前のバージョンは、「F」の省略値の定義によりこれを暗黙の内に述べた。コード F は、結果が正確でありかつ最終であると確認されたことを示す。コード W は、結果が間違っていると（正しくない）確認されたことを示す；置換（修正）された結果はその後送信されることがある。コード C は、OBX-5－検査値項目に含まれたデータが、同じ検査 ID（適用可能な場合接尾辞を含んで）および検査サブ ID を持つ以前に送信（確認）された最終結果データを通常置換すべきであることを示す。以前の結果が間違っていたからである。コード D は、同じ検査 ID（接尾辞を含んで）および検査サブ ID を備えた結果セグメント中で、以前に送信されたデータが削除されることを示す。結果を変更するか削除する場合、同じ検査 ID および検査サブ ID を備えた多数の OBX セグメントは、1単位として交換されるか削除される。結果の正常な進行、すなわち中間（例えば、「グラム陽性球菌」）から最終（例えば、「ぶどう状球菌アウレウス」）結果への進行は、C（補正）として送信されてはならない；それらは、最終になるまでは P あるいは S（特定の場合に依存して）として送信されるべきである。

検査群が必須とするオーダが機能的に必要とする特定のオーダ時間での条件がある。この検査群は OBX セグメントがオーダにしたがって伝達され、そのうえ、依頼システムによって生成することによって定義される。例えば、リンパ液ブドウ糖の期間測定チャレンジテストは検査の間で変化する。他の制度がそれらを-30, 0, 30, 60, 90分でレポートする間、ある制度はそれらを-30, -15, 0, 30, 60, 120分でレポートする。マスターファイル

登録は検査群それ自身ではなく、検査群のそれぞれ個々の成分で存在する。他の例では、明細は可能要素の各置換で、マスターファイル定義なしでオーダするレニン学である（レニン学：腎乏血により分泌される血圧調節に関わるプロテアーゼ）。ORM 伝達での OBX セグメントは、検査群それ自身で、副存在マスターファイル定義なしの、これらの置換を調節する機能的な明細を創作される。OBX での結果ステータス項目は、ORM 伝達での OBX が機能的明細を供給しようとも、オーダする環境としての伝達結果であろうと示していた。O のステータスは OBX セグメントが必修の結果を示していた。OBX-11 が O のとき検査依頼の詳細を示す。そのとき OBX-2、OBX-5 は null である。

HL7 表 0085 検査結果状態コード解釈

値	内容
C	到着レコードは修正であり、結果を書き換える。
D	OBX レコードを削除する。
F	最終結果： 修正結果でのみ変更可能。
I	臨床検査室の検体；結果保留
N	未確認、OBX-4 で探せない OBX 検査 ID を確定するために使用する
O	検査依頼項目の詳細を示す
P	事前結果
R	結果を入力 ー ー 検証されない
S	部分結果
X	この検査では、結果は得られない。
U	結果状態を最終へ変更。結果状態が「最終」に変わる。「予備」としてすでに送られた結果は再送信しない。例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される。
W	オリジナルを間違っているものとしてポストする。例えば、間違っている患者のために送信された。

補足資料 9

コネクタソン 2009 検体検査依頼電文例

[2009/10/29 13:15:21] RCV->

MSH|^&|HIS|OP_HIS|LIS|OF_LIS|20091029131522||OML^033^OML_033|20091029131522003
|P|2.5|||||^ISO IR87||ISO 2022-1994

PID||000000004^^^PI||日本^テスト 0 0 1^^^L^I^ニホン^テスト 0 0 1
^^^L^P||19480123|M||東京都台東区花川戸 2 - 6 - 5

^^^111-0033^H||03-3844-6190^PRN^PH

PV1||0|01^^^C|||||01

SPM|1|00034837001&OP&00034837001||023^血清
^JC10|||||||200910290000|||||||001^茶・生化学^L

ORC|NW|09X290003483700|||||20091029131522||MAIN00^日本^I H E 医師
^^^L^^^I|01^^^C|||||01^内科^L|FMV00714|||||||0

TQ1|1|||||20091029||R

OBR|1|09X290003483700||E999^検体検査

^IOB_Obgrp||20091029|200910290000|||||||MAIN00^日本^I H E 医師^^^L^^^I

OBX|1|CWE|C001000^依頼コメント^L||0002^自科採血^L|||||0

OBX|2||3A0100000023271^TP^JC10|||||||0||R

OBX|3||3A0150000023271^A1b^JC10|||||||0||R

OBX|4||3A0250000023292^T T T^JC10|||||||0||R

OBX|5||3A0300000023292^Z T T^JC10|||||||0||R

OBX|6||3B0350000023272^G O T^JC10|||||||0||R

OBX|7||3B0450000023272^G P T^JC10|||||||0||R

OBX|8||3B0500000023272^L D H^JC10|||||||0||R

OBX|9||3B0900000023272^γ - G T P^JC10|||||||0||R

SPM|2|00034837510&OP&00034837510||004^蓄尿
^JC10|||||||200910290000|||||||510^尿スピッツ (蓄尿)^L

ORC|NW|09X290003483700|||||20091029131522||MAIN00^日本^I H E 医師
^^^L^^^I|01^^^C|||||01^内科^L|FMV00714|||||||0

TQ1|1|||||20091029||R

OBR|1|09X290003483700||E999^検体検査

^IOB_Obgrp||20091029|200910290000|||||||MAIN00^日本^I H E 医師^^^L^^^I

OBX|1|CWE|C001000^依頼コメント^L||0002^自科採血^L|||||0

OBX|2||3H010000004261^N a^JC10|||||||0||R

OBX|3||3H015000004261^K^JC10|||||||0||R

OBX|4||3H020000004261^クロール^JC10|||||||0|R

[2009/10/29 13:15:21] SND->

MSH|^&|LIS|OF_LIS|HIS|OP_HIS|20091029131521||ORL^034^ORL_034|20091029131521|P|
2.5|||||^~ISO IR87||ISO 2022-1994
MSA|AA|20091029131522003

コネクタソン 2009 検体検査依頼電文例

[2009/10/29 11:56:40] 開始

[2009/10/29 11:56:40] SND->

MSH|^&|GL|HOSP_OF|HIS|HOSP_ORT|20091029112727||OUL^R22^OUL_R22|20091029112727|
P|2.5|||||^~ISO IR87||ISO 2022-1994

PID||8000000501^^^PI||江戸川^一男^^^L^I^エドガワ^カズオ
^^^L^P||19440404|M||^H

PV1||0|01^^^C

SPM|1|00001202&&10290001202^20091029000005&&10290005003||022^ 血漿

^JC10|||||||20091029000000|20091029105840|||||||202^橙・凝固^L

SAC||10290001202|||20091029112727

OBR|1|00001|20091029000005|01^Laboratory^L||200910291044|20091029000000|||||20

091029105840||0225^日本^太郎^^^L^^^I^^ニホン^タロウ

^^^L^^^P|||||20091029112727||F||^01&内科

|||||^90001&コネクタソン CLINILAN GL2

ORC|SC|00001||CM|||20091029112727||0225^日本^太郎^^^L^^^I^^ニホン^タロ

ウ^^^L^^^P|01^^^C|||01^内科^L|||XXX病院^^^0000000000|||||||0

TQ1|1|||||20091029||R

OBX|1|NM|9M02100000000001^体重

^JC10||65.0|^Kg^L||||F|R|20091029104546|00^L||||17530101000000

OBX|2|NM|9M01100000000001^身長

^JC10||175.0|^cm^L||||F|R|20091029104546|00^L||||17530101000000

OBX|3|NM|2B035000002231153^・

PT%^JC10||3.0|^%^L|70.0-130.0|L||||F|R|20091029110159|02^凝固

^L||||17530101000000

OBX|4|NM|2B035000002231151^・TT秒

^JC10||2.0|^%^L|70.0-130.0|L||||F|R|20091029110159|02^凝固^L||||17530101000000

OBX|5|NM|2B035000002231100^トロンホ^テスト
^JC10||1.0|||||F||R|20091029110159|02^凝固^L|||17530101000000
SPM|2|00001510&&10290001510^200910290000005&&10290005002||004^蓄尿
^JC10|||||||20091029000000|20091029105836|||||||007^蓄尿化学(一般)^L
SAC|||10290001510|||20091029112727
OBR|1|00001|20091029000005|01^Laboratory^L||200910291044|20091029000000|||||20
091029105836||0225^日本^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ニホン^タロウ
^^^^^^L^^^^^P|||||20091029112727|||F|||^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^01&内科
|||||^^^^^^90001&コネクタソン CLINILAN GL2
ORC|SC|00001||CM|||20091029112727||0225^日本^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ニホン^タロ
ウ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^L|||XXX病院^^^^^^^^^^0000000000|||||||0
TQ1|1|||||20091029||R
OBX|1|NM|9M0210000000000001^体重
^JC10||65.0|^Kg^L|||||F||R|20091029104546|00^L|||17530101000000
OBX|2|NM|9M0110000000000001^身長
^JC10||175.0|^cm^L|||||F||R|20091029104546|00^L|||17530101000000
OBX|3|NM|3H020000000426101^蓄
C1^JC10||14|^mEq/1^L|>=-999999_<=999999|||||F||R|20091029110159|11^生化学
^L|||17530101000000
OBX|4|NM|3H015000000426101^蓄
K^JC10||13.0|^mEq/1^L|>=-999999.0_<=999999.0|||||F||R|20091029110159|11^生化学
^L|||17530101000000
OBX|5|NM|3H010000000426101^蓄
Na^JC10||12|^mEq/1^L|>=-999999_<=999999|||||F||R|20091029110159|11^生化学
^L|||17530101000000
SPM|3|00001001&&10290001001^200910290000005&&10290005001||023^血清
^JC10|||||||20091029000000|20091029105831|||||||001^茶・生化学^L
SAC|||10290001001|||20091029112727
OBR|1|00001|20091029000005|01^Laboratory^L||200910291044|20091029000000|||||20
091029105831||0225^日本^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ニホン^タロウ
^^^^^^L^^^^^P|||||20091029112727|||F|||^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^01&内科
|||||^^^^^^90001&コネクタソン CLINILAN GL2
ORC|SC|00001||CM|||20091029112727||0225^日本^太郎^^^^^^L^^^^^I^^ニホン^タロ
ウ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^L|||XXX病院^^^^^^^^^^0000000000|||||||0
TQ1|1|||||20091029||R
OBX|1|NM|9M0210000000000001^体重

^JC10||65.0|^Kg^L|||||F||R|20091029104546|00^L||||17530101000000
OBX|2|NM|9M011000000000001^身長
^JC10||175.0|^cm^L|||||F||R|20091029104546|00^L||||17530101000000
OBX|3|NM|5E075000002310111^TPHA QL^JC10||17||(-)|||F||R|20091029112727|12^免疫
^L||||17530101000000
OBX|4|NM|5D520000002302301^PIVKA2^JC10||15|^mAU/ml^L|<40|||||F||R|20091029110159|
12^免疫^L||||17530101000000
OBX|5|NM|3B090000002327201^γ -
GTP^JC10||11|^U/1^L|M<=70|||||F||R|20091029110159|11^生化学^L||||17530101000000
OBX|6|NM|3B050000002327201^LDH^JC10||10|^U/1^L|115-250|LL|||||F||R|20091029110159|
11^生化学^L||||17530101000000
OBX|7|NM|3B045000002327201^GPT^JC10||9|^U/1^L|5-40|||||F||R|20091029110159|11^生
化学^L||||17530101000000
OBX|8|NM|3B035000002327201^GOT^JC10||8|^U/1^L|10-40|L|||||F||R|20091029110159|11^
生化学^L||||17530101000000
OBX|9|NM|3A030000002329201^ZTT^JC10||7.0|^U^L|4.0-12.0|||||F||R|20091029110159|11^
生化学^L||||17530101000000
OBX|10|NM|3A025000002329201^TTT^JC10||6.0|^U^L|<=4.0|H|||||F||R|20091029110159|11^
生化学^L||||17530101000000
OBX|11|NM|3A015000002327101^アルブ`ミン
^JC10||5.0|^g/dl^L|3.6-5.1|||||F||R|20091029110159|11^生化学^L||||17530101000000
OBX|12|NM|3A010000002327101^総蛋白
^JC10||4.0|^g/dl^L|6.7-8.3|L|||||F||R|20091029110159|11^生化学^L||||17530101000000
▪

[2009/10/29 11:56:42] RCV->

MSH|^~¥&|HIS|HOSP_ORT|GL|HOSP_OF|20091029115026||ACK^R22^ACK|20091029115026|P|2.
5|||||^~ISO IR87||ISO 2022-1994
MSA|AA|20091029112727